

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

発行日：毎月 10 日・20 日・月末
創刊日：1999 年 12 月 8 日
編集 / 発行：橋本 啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

2006 年 4 月 IMTC インタビュー

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2006 CNA Report Japan. All rights reserved.

インタビュー特集



International Multimedia Telecommunications Consortium (IMTC)



IMTC マーケティング担当
バイスプレジデント

Mitch Lewis 氏

(Vice President, Marketing and

Product Management, Diliithium Networks Inc.)

聞き手：CNA レポート・ジャパン 編集長橋本啓介

橋本：まずは、IMTC のミッションや役割について教えてください。

Lewis 氏:IMTC(International Multimedia Telecommunications Consortium)は世界 70 に及ぶ企業などが参画する非営利団体です。ミッションはオープンな規格に準拠し相互に接続できるマルチメディア会議ソリューションー特に国際電気通信連合 (ITU) や他の標準化団体に採択されたマルチメディア会議規格ーの開発・実装の為の環境を整え普及を促進する事です。その他 IMTC はメンバーや参画企業、メディアや一般の方々に向けて信頼できる遠隔会議関連情報を発信しています。

橋本：通信機器間の相互接続 (Interoperability) の課題はどうして重要なのでしょうか。

Lewis 氏:相互に接続できると言う事が、ユーザーが標準準拠のマルチメディア通信ソリューションを利用して日常の仕事や娯楽の会話・コミュニケーションをする場合に必須だからです。

橋本：IMTC の活動について教えてください。

Lewis 氏:IMTC の重要な活動には次のものがあります:標準規格準拠の会議システム商品やサービス間の相互接続性テストの支援と実施、メンバーによる標準化委員会へ追加提案を可能とするの情報交換の場の提供、業界全体の協調を通じてマルチメディア会議製品やサービスの相互接続性と利便性の強化です。

橋本：IMTC 以外には、ITU-T や IETF などの組織がありますが、それらの組織との関係とその中での IMTC の役割について教えてください。

Lewis 氏:IMTC はメディアリッチなリアルタイム通信の普及に専念し、国際規格に準拠した製品とサービスの相互接続性を促進しています。主に次の標準化団体:ETSI, IEEE, IETF, ISO/IEC, ITU-T, TIA, 3GPP や W3C と強調して活動しています。

IMTC 自身は標準化団体ではありません。メンバーは標準化活動や相互接続性のフォーラム、ワークショップや実験に参加し、規格やレコメンデーション策定の為に接続性テストで分かった事や追加規格案を検討事項として提案しています。

橋本：IMTC には、ある技術的なテーマに基づいていくつかのアクティビティグループがありますが、こちら

ではどのような活動をされているのでしょうか。

Lewis 氏:IMTC は IMTC フォーラムを毎年開催しています。今年にはノキア社の協賛を得てカリフォルニア州サンディエゴで行われ、世界のリーダカンパニーやエグゼクティブがどの様な新世代マルチメディア通信システムとプロトコルを開発して行くかを探求します。この他 IMTC は次の様に相互接続性テストを計画的に率先して実行しています。

3G-324M アクティビティーグループ相互接続性テスト

2月(2006年)

スプリング相互接続性テスト

4月(2006年)

IMTC フォーラム

5月(2006年)

スーパーオップ相互接続性テスト

9月(2006年)

現在のアクティビティーグループ(AG: Activity Group)は以下のようなものがあります。

3G-324M AG: H.323, 3G-324M(TS26.111, TS26.110, TR26.911)準拠のリアルタイムビデオ電話の相互接続性テストを行っています。現在のグループの注目点は3G-324M 端末間の相互接続性テストです。

会議相互接続性 AG: IMTC メンバー会社に対して H.323, セキュリティ, サービス品質, その他の共通事項の為のリソース確保や協調する場としてのフォーラムを提供しています。この AG は会議、ビデオ、多地点などを含むマルチメディア通信の応用に焦点を当てています。

メディアプロセスング AG: ITU-T, ETSI, 3GPP や ISO/IEC JTC1 委員会が策定しているメディア符号化領域で活発に活動する標準技術開発組織と緊密な連絡を取りながら活動を行っています。この AG の役割はこうした標準化の支援にあります。もし標準技術開発組織が必要とされ

るメディア符号標準規格を配信できない場合には、この AG が代わってこれらの標準規格を策定する事になるでしょう。

PSS(Packet Switch Streaming) AG: 3GPP(TS 26.233, TS26.234 と TS26.244)と 3GPP2(C.P0046 と C.S0050)からの技術仕様に基づいたパケット交換ストリーミングサービスに関する相互接続性テストの実施を行っている。テスト活動には無線ネットワークを使ったマルチメディアコンテンツ作成・配信・再生/利用も含まれています。

SIP(Session Initiation Protocol) AG: IMTC メンバー会社に対して Session Initiation Protocol(SIP)の共通の課題の為のリソース確保や協調する場としてのフォーラムを提供しています。SIP AG は会議、ビデオ、多地点など VoIP 電話を超えて (VoIP 相互接続性も活動範囲に含まれる) マルチメディア通信の応用に焦点を当てています。

橋本: IMTC のメンバー企業について教えてください。どういった企業が参加しているとか、メンバーになるメリットとか、などです。

Lewis 氏:IMTC 加盟によりその組織の商品が相互接続性テストプロセスに乗る事になります。

加盟組織・会社がリソースを合わせて共通の課題に取り組む事により IMTC メンバーは次の多数のメリット他を得ることができます。

(1) 標準に関連するデータや方向性を早期に入手できる。(2) IMTC の重要な技術規格・推薦に提案をしたり承認をしたりできる。(3) 技術的な相互接続性テストに参加し、標準規格準拠の商品を早期に市場導入できる。(4) IMTC 加盟他メンバーが開発中商品の知識を得る。(5) IMTC が協賛するマーケティングや教育プログラムを通じて業界やメディアでの認知度を向上できる、などがあります。

現 IMTC メンバー:

カナダ	-ATI Technologies Inc. -Convedia Corporation
-----	---

中国	-Huawei Technologies Co., Ltd
フィンランド	-Hantro Products Oy
フランス	-Alcatel -France Telecom
ドイツ	-Comneon GmbH & Co. OHG -Fraunhofer Institute Integrierte Schaltung -Siemens AG -Toshiba Electronics Europe
インド	-Sasken Communication Technology
イスラエル	-Mobixell Networks Inc. -Ximpo
イタリア	-Aethra Telecomunicazioni -STMicroelectronics S.r.l. -Telecom Italia s.p.a. -TILAB
日本	-シャープ -ソニー
オランダ	-European Patent Office -Philips Electronics
ノルウェー	-TANDBERG Telecom AS -Telenor AS
韓国	-Mcubeorks, Inc. -Mtekvision Co., Ltd. -Nextreaming Corporation -OnTimeTek, Inc. -Samsung Electronics Co., Ltd.
スウェーデン	-Ericsson -Sony Ericsson Mobile Communications AB
台湾	-High Tech Computer Corporation -Leadtek Research, Inc.
英国	-TTPCom Ltd. -Vodafone Group PLC
米国	-Apple Computer, Inc. -Cisco Systems, Inc. -Dilithium Networks -Emuzed, Inc. -Glowpoint -Ixia -LifeSize Communications -LogicaCMG -Motorola, Inc. -NexTone Communications, Inc. -NMS Communications -Nokia Corporation -NVIDIA Corporation -PacketVideo -Panasonic Mobile Communication -Polycom, Inc. -Qualcomm, Inc. -RADVISION, Inc. -RealNetworks -SKY MobileMedia

	-Sorenson Media, Inc. -Texas Instruments, Inc. -Vidiator Technology (US), Inc.
--	--

IMTC ボードメンバー：

NMS Communications, Tandberg, France Telecom, LifeSize, Ericsson, Sony, Dilithium Network, Ximpo Group Ltd., Cisco, Radvision, Polycom Inc., Siemens, Nokia, and RealNetworks.

IMTC とリエゾン関係を持っている組織：

- 3rd Generation Partnership Project (3GPP)
- 3GPP TSG SA WG4 (Codec)
- DSL Forum
- European Telecommunications Standards Institute (ETSI)
- ETSI TISPAN
- GSM
- HATS
- ISMA
- SO/IEC JTC1 SC29
- ISO/IEC JTC1 SC29 WG1 (JPEG)
- ISO/IEC JTC1 SC29 WG11 (MPEG)
- International Telecommunication Union
Standardization Sector (ITU-T)
- ITU-T SG 16
- MPEG-4 Industry Forum (M4IF)
- Telecommunications Industry Association (TIA)
- Telecommunication Technology Committee (TTC)

橋本：最近 H.325 の話題を聞かれるようになってきました。この H.325 は、H.323 や SIP を超える次世代のプロトコルになっていくのでしょうか？

Lewis 氏：H.325 は次世代ネットワーク (NGN: Next Generation Network) 技術に関係していますが、その新技術は議論をしている最中です。H.325 という規格番号は技術内容が決まる以前に取得された物です。

橋本：それ以外に標準化関係で話題になっていることはどのようなことがありますか。

Lewis 氏:回線交換とパケットネットワーク間、ブロードバンドと3G ネットワーク間、異なる端末やハンドセット間、これらのネットワークでの複数サービスのシームレスな動作に相互接続性の課題があります。

こうした相互接続性の課題が今日のコンシューマ機器と同様にエンドユーザにきちんと知らされている必要があります、重要な課題です。ユーザーは同じマルチメディアサービスをいつでもどんなネットワークでも固定回線や様々なタイプのモバイル機器によらず使えるべきです。

橋本：アジア太平洋地域での今後の IMTC の予定などがありましたらお話いただけますか。

Lewis 氏: IMTC はアジア地域で最初となる IMTC Forum 2007 開催を検討しています。

橋本：最後に CNA レポート・ジャパンの読者にコメントがありましたらよろしくお願い致します。IMTC へ参加について興味がある方もいらっしゃるかもしれません。

Lewis 氏: IMTC 加盟はあらゆる団体にオープンです。例えばインターネットアプリケーション開発会社、サービスプロバイダ、遠隔会議器機やソフトウェア作成会社、通信サービスプロバイダ、ビデオ会議プロバイダ、エンドユーザ、教育機関、政府機関、非営利団体などです。

非営利団体である IMTC メンバーとなる為の資格条件は次の通りです:営利団体、非営利団体、政府組織、教育機関、その他の団体であって IMTC の目的とポリシー及びプロセスを支援する事がメンバー加盟資格条件をみたく

【連絡先】

Mitch Lewis, marketing@IMTC.org

IMTC Secretary, secretary@imtc.org
IMTC, Inc.

Bishop Ranch 6,
2400 Camino Ramon, Suite 375
San Ramon, CA 94583
Phone: +1.925.275.6600
Fax: +1.925.275.6691

IMTC <http://www.imtc.org/>

編集 編集長 橋本啓介